

グローバル人材育成教育学会 第13回全国大会開催案内（第5報）

大会委員長 高城 宏行（玉川大学）
大会実行委員長 松井 恵美子（戸板女子短期大学）

【開催日】2025年12月13日（土）・14日（日）

【会 場】戸板女子短期大学 三田キャンパス

JR 山手線・京浜東北線「田町駅」三田口徒歩7分

都営地下鉄三田線・浅草線「三田駅」A9出口徒歩3分

都営地下鉄三田線「芝公園駅」A1出口徒歩1分

アクセス：<https://www.toita.ac.jp/access/>

【開催方法】対面

【大会テーマ】

グローバル人材育成の新潮流：変化する教育環境と多様性の未来

New Trends in Global Competency Education: The Changing Educational Environment and the Future of Diversity

【大会趣旨】

日本政府は外国人材の受け入れ拡大を進め、多様な文化背景を持つ子どもたちが増加しています。これに伴い、教育現場では多文化共生社会の実現に向けた環境整備が求められています。一方で、アメリカのトランプ政権が掲げる自国第一主義をはじめとする反グローバル化や移民排斥の動きが多くの国で広がっています。本大会では、このような不確実な状況において、日本が進めるべき教育革新とグローバル人材育成の方策について、産官学の視点から議論を深めます。

基調講演には、ジャーナリストで名城大学教授の池上彰先生をお迎えし、「グローバル人材の育て方～世界情勢と日本の若者の今を考える～」のテーマでご講演いただきます。また、「多様な言語・文化的背景を持つ子どもたちの教育問題」、「アジアに広がる海外留学の多様化」、「中等教育段階での国際的な学びと高等教育への接続」をテーマにした3つのシンポジウム、ラウンドテーブル、一般・学生発表を予定しており、情報交換会と懇親会も開催いたします。会員、賛助会員、非会員の皆様のご参加をお待ちしています。

【大会参加費】

- 正会員・学生会員：2,000 円
- 終身会員*：無料
*正会員に通算で 5 年以上在籍し、所属校など（常勤・非常勤教職員）の定年退職者で常勤職を持たない者。在会中の会費を全納した者。
- 生徒・学部生・無職の院生：無料（生徒・学部生は正会員を通じてお申し込みください）
- 会場校（戸板女子短期大学および三田国際科学学園）の教職員・学生・生徒：無料
- 非会員：3,000 円
- 非会員（池上先生の講演のみ参加）：1,000 円
- 賛助会員（展示、発表、予稿集掲載、大会参加費 2 名分込み）：20,000 円
- 非賛助会員（展示、大会参加費 1 名分込み）：30,000 円

【情報交換会参加費】会員、非会員：2,500 円、生徒・学部学生・無職の院生：無料

【懇親会参加費】一律：5,000 円 *定員に達したため、参加申し込みの受付を終了しました。

【参加申し込み】

参加申込フォームから申し込みをお願いします。

=> 参加申込フォーム：<https://forms.gle/zpvz1e7t8gudje2U6>

参加申込み期限：2025 年 11 月 28 日(金)

【参加費振込先】

① ゆうちょ銀行

口座記号番号：10140-59782831

加入者名：グローバル人材育成教育学会

② ゆうちょ銀行以外の金融機関から振込の場合

銀行名：ゆうちょ銀行

店名：〇一八（ゼロイチハチ）店

預金種目：普通預金

口座番号：5978283

大会・情報交換会・懇親会の参加費支払い期限：2025 年 11 月 28 日(金)

会場での参加費のお支払いは受け付けておりませんので、期日までにお申し込みおよびご入金をお済ませください。なお、参加費はまとめてお振り込みいただいて差し支えありません。領収書は項目別に分けて会場にてお渡しいたします。

また、理由の如何を問わず、ご入金後のキャンセル・変更・返金はお受けできませんので、あらかじめご了承ください。

【プログラム】

12月13日(土) 12:30~17:00

11:30 受付開始

12:30~12:45 開会式

会長挨拶：アーナンダ クマーラ（本学会会長、Lanka Nippon Biztech Institute 学長）

開催校挨拶：戸板女子短期大学関係者

12:45~13:05 戸板女子短期大学の産学連携の取り組み

13:10~13:40 賛助会員発表

13:50~15:20 一般発表1（口頭・ポスター）*、学生ポスターセッション*

15:30~17:00 シンポジウム1「アジアに広がる留学の道：短期留学の可能性と課題」

モデレーター：大六野 耕作（本学会理事長・明治大学 顧問・名誉教授）

パネリスト1：西川 朋子（トビタテ！留学JAPAN 広報マーケティングチームリーダー）

パネリスト2：アーナンダ クマーラ

（本学会会長・Lanka Nippon Biztech Institute 学長）

パネリスト3：勝又 美穂子（大阪大学接合科学研究所グローバルD&I推進 准教授）

パネリスト4：菅谷 亮介（very50 代表）

15:30~17:00 ラウンドテーブル1「グローバル人材育成に関する科研課題と共同研究の可能性」

モデレーター：服部 圭子（本学会常任理事・近畿大学生物理工学部 教養・基礎教育部門 教授）

話題提供者：小野 真嗣（室蘭工業大学大学院工学研究科 准教授）

原 隆幸（本学会常任理事、鹿児島大学総合教育機構 教授）

小野 博（本学会名誉会長、中央大学研究開発機構 教授）

坂本 宗明（金沢工業大学バイオ・化学部 教授）

17:10~18:30 情報交換会（会場2階カフェテリア）

19:00~21:20 懇親会 CORE（イタリアン）貸切

JR 田町駅 徒歩2分、地下鉄都営三田線／地下鉄都営浅草線 三田駅 徒歩1分

<https://www.hotpepper.jp/strJ000000591>

12月14日(日) 9:15~17:00

8:45 受付開始

9:15~10:15 学生ポスターセッション コア（発表）タイム*

10:30~11:30 基調講演「グローバル人材の育て方 ～世界情勢と日本の若者の今を考える～」

池上 彰（ジャーナリスト）

11:45~12:45 一般発表2（口頭・ポスター）*

12:45~13:45 昼休憩

臨時理事会

13:45~14:45 一般発表3（口頭・ポスター）*

13:45~14:45 ラウンドテーブル2「国際教育プログラムの効果測定手法の多様化と今後の展開」

モデレーター：高城 宏行（玉川大学文学部 教授）

話題提供者：BEVI 西谷 元（広島大学 名誉教授・創価大学学士課程教育機構 客員教授）

GPS 片山 俊（株式会社ベネッセ i-キャリア教育事業本部大社接統営業部 部長）

IDI 水松 巳奈（東洋大学国際教育センター 講師）

ISS 天木 勇樹（青山学院大学経済学部 准教授）

異文化対応力測定質問紙：佐々木 有紀（中村学園大学教育学部 教授）

13:45～14:45 国際交流委員会企画

14:55～16:25 シンポジウム2「多様な言語・文化的背景を持つ子どもたちと教育問題」

モデレーター：服部 圭子（本学会常務理事・近畿大学生物理工学部 教養・基礎教育部門 教授）

パネリスト1：釜井 宏行（文部科学省総合教育政策局国際教育課 課長）

パネリスト2：井出 里咲子（筑波大学大学院人文社会系 教授）

パネリスト3：小野 博（本学会名誉会長・中央大学研究開発機構 教授）

14:55～16:25 シンポジウム3「中等教育段階での国際的な学びと高等教育への接続」

モデレーター：池田 実乃（株式会社ベネッセコーポレーション大学グローバル事業部 部長）

パネリスト1：檜島 知哉（三田国際科学学園中学校・高等学校 教頭）

パネリスト2：奥山 則和（桐蔭学園 教諭・留学研修担当マネージャー）

パネリスト3：村松 教子（明治大学附属明治高等学校・明治中学校 教諭・国際連携主任）

16:30～17:00 学会総会

学会賞表彰式

各支部の活動報告

関東支部総会

17:00～17:15 閉会式

今後の研究大会の案内

集合写真

*一般発表（発表20分＋質疑5分）

一般発表1 12月13日（土）13:50～15:20

言語教育関連

13:50～14:15

海外の育成課程の影響：日本語教師6人の経歴と授業構成過程の考察

ヤング 太田 美穂（大阪学院大学）

14:20～14:45

教師の指導を超えた学び—小学校外国語活動における児童同士の学び合いと創造性

松井 恵美子（戸板女子短期大学）

14:50～15:15

グローバル人材育成を支える「言語多様性教育」の展望

内田 富男（明星大学）、大石 佳奈（明星大学）、内田 景子（産業能率大学）、

島 由佳（鹿児島高等学校）

国際プログラムの評価関連

13:50~14:15

BEVI による測定・評価から AI を利用した学生へのフィードバック・教育的介入

西谷 元（広島大学/創価大学）

14:20~14:45

BEVI を用いた学習者の価値観分析と多文化共修への示唆

水松 巳奈（東洋大学）

14:50~15:15

株式会社映像センターとの産学連携による異文化理解・キャリア教育の試み：国際共修を例に
（蒙 韞（韞）新潟大学）

地域・教育心理関連

13:50~14:15

外国人集住地域における保育者の意識と保育実践の展望

杉本 孝美（桃山学院大学）、オチャンテ・ロサ・村井・メルセデス（桃山学院大学）

14:20~14:45

アンガーマネジメントを主体とするコミュニケーション教育の構築と脳科学的効果検証

古村 由美子（名古屋外国語大学）、夏目 季代久（九州工業大学）、佐藤 恵子（一般社団法人 AMJ）、

山村 容子（一般社団法人 AMJ）、中野 秀子（元九州女子大教授）、竹田 伸也（鳥取大学）、

萩原 悟一（九州産業大学）、井上 正雄（大阪公立大学）

グローバル教育関連

13:50~14:15

グローバル環境で求められる人材スキルとマインドセットの考察—異文化研修実例の報告および
その成果と課題

鈴木 武生（株式会社アジアユーロ言語研究所）、大淵 みほ子（TCS 株式会社）

14:20~14:45

プログラムへの登録を伴わないグローバル教育

村上 理映（東京科学大学）、太田 絵里（東京科学大学）、松崎 由理（東京科学大学）

一般発表 2 12 月 14 日（日）11:45~12:45

グローバル教育関連

11:45~12:10

京都先端科学大学工学部における英語学位プログラムの実践

市村 真希（京都先端科学大学）

12:15~12:40

サービラーニングを核としたグローバル人材の育成—設計者の取り組みと参加学生の成長—

坂本 宗明（金沢工業大学）、圓子 詩乃（金沢工業大学）、栃内 文彦（芝浦工業大学）

国際プログラムの評価関連

11:45~12:10

文学が拓く世界観と対話力：文学教育×BEVI 測定で可視化するグローバル適応力

上杉 裕子（叡啓大学）

12:15~12:40

中高大における海外研修の効果：プログラム類型と発達段階の違いから得られる示唆

高城 宏行（玉川大学）、村松 教子（明治大学付属明治高等学校・明治中学校）、
奥山 則和（桐蔭学園）

国際プロジェクト関連

11:45~12:10

Analysis of the Collaboration Process in the International Collaborative Projects from the Viewpoint of Education for Sustainable Development

HSIEH, Chia-Ling（National Sun Yat-sen University）、HORINO, Yoshiyasu（京都外国語大学）

12:15~12:40

日本・インドネシア学生による異文化協働型課題解決学習の教育的効果：SDGs ゴール 12「つくる責任つかう責任」を題材として

太田 絵里（東京科学大学）、松崎 由理（東京科学大学）、村上 理映（東京科学大学）

一般発表 3 12月14日（日）13:45~14:45

国際プロジェクト関連

13:45~14:10

世界の「20 歳」の実像調査の試み ―Global Japan Research と Music Way 20

原田 悦志（明治大学）

14:15~14:40

日米オンライン共修授業の実践報告 ― 学びと行動をつなぐ取り組み ―

蕪木 絵実（鳥取大学）、鈴木 和子（バーモント大学）、チャン チェオン ジェン（鳥取大学）

グローバル教育関連

13:45~14:10

グローバル人材の育成における多元的アイデンティティに関する一考察―日本とキルギス共和国における英語教科書の比較を通して―

大塚 圭（中央大学杉並高等学校）

14:15~14:40

日本の大学院博士課程学生の指導教員の国際的活動状況と指導学生への影響

大膳 司（広島大学）

* ポスター発表

12月13日(土) 13:50～15:20

12月14日(日) 9:15～10:15 学生ポスターセッション コア(発表) タイム

11:45～12:45・13:45～14:45

1	ブラジル・キャンピーナス都市圏における自称バイリンガル校に関する社会言語学的研究 エノモト・ジャニナ・チエミ(筑波大学大学院)
2	タイ人の食育と家族関係が well-being に与える影響 ―父親の関りに注目して― 浅田くるみ・多木詩音・荻堂音花・佐渡山美桜・藤岡みやび・與倉陽華・渡辺千尋 (人間環境大学)
3	「国際コラボレーション」から得た学び ―言語の壁を越えたコミュニケーションの大切さ― 柏崎 琴音(北海道情報大学)
4	研究留学を見据えた学びと「グローバル人材」としての自己成長 鎌倉 佑太(室蘭工業大学)
5	フランス短期研修の報告および自身の変化 ―I.U.T. de Béthune― 金子 祐大(小山工業高等専門学校)
6	ニュージーランド・オタゴ大学への研修参加の経験を通して 大津谷 サイモン(宮崎国際大学)
7	カンボジアインターンを通じて考える貧困問題について―過去を知り、未来へつなぐ“気づき” の教育― 新川きらり(戸板女子短期大学)